

2026～27 シーズン/指導員検定マニュアル

道スキー協教育部

1. ①「指導員検定受検申込書」②「指導員検定会受検票」を同時に提出

■指導員検定受検者は、①スキー様式 5 号「指導員検定受検申込書」（推薦者欄に推薦理由の記載も忘れずに）②スキー様式 6 号「指導員検定会受検票」（氏名・生年月日・自宅住所・電話・FAX・メール・携帯電話等記載）を道スキー協教育部担当者長谷川に、メールか FAX で送信、提出する。できればメールでのやり取りをお願いします（クラブ内等のメール環境がある方に協力していただき、提出をしてください）（注 1）

⇒申し込み締め切り 11 月 1 日（日）まで



2. 初・中・上級指導員養成（理論） 11 月 15 日（日）（注 2）
北海道高等学校教職員センター

■初・中・上級指導員養成（理論）は、7 単位（1 単位 60 分） 受講料：5,000 円（注 3）
①スキー協の活動（2 単位）②スキーの技術と指導法（2 単位）③組織運営と指導員の役割（1 単位）④スキー事故の予防と対応（1 単位）⑤指導員規程の理解と運営（1 単位）
「スキー教程」・「リーダーテキスト」・「シーハイル」を持参。養成理論講習後にレポートテーマを発表。



3. レポートを提出 1 月 31 日（日） 24 時まで

■理論／レポートの提出は、道スキー協教育部担当者長谷川に、できれば PDF にしてメール送信を希望。郵送の方は別途問合せください。

①民主スポーツ（スキー）理論（800～2,000 字程度）

②スキー指導法理論（800～2,000 字程度）



4. 初・中・上級指導員養成（実技） 1 月 10～11 日（日・月祝）（注 4）
萩の山スキー場

■初・中・上級指導員養成（実技）は、10 単位（1 単位 60 分） 受講料：5,000 円（注 5）
①スキー教程技術（6 単位）②応用発展技術（2 単位）③指導法実技（2 単位）



5. 初・中・上級指導員検定会（理論・実技） 2 月 13～14 日（土・日）（注 6）
北長沼スキー場

■初・中・上級指導員検定会（理論・実技）は、（検定員 3 名）（注 7）

受検料：6,000 円（注 8）

<（実技／スキー技術）>

◇スキー技術は、教程技術（4 種目）と応用技術（4 種目）

<教程技術（4 種目）>

①スキーの操作能力を見る種目（真下への横滑り左右連続）

②初歩の平行ターンⅡ ③ベーシック平行ターン

④洗練の平行ターンⅠ

<応用技術（４種目）>

①ロングターン②ショートターン③コンビネーション④不整地小回りターン

<（理論／ペーパーテスト）>

夕方からペーパーテストを行う。場所は北長沼の公的施設で行う予定（※9）

◇ペーパーテストは、１０問程度とし、時間は１～２時間程度とする。

- ①民主スポーツ（スキー）理論 ②スキー（技術）指導法 ③スキー技術
④安全対策および救急法 ⑤一般スキー知識 ⑥競技スキー
⑦山スキー・歩くスキー

※筆記用具のご用意をお願い致します。

<（実技／指導法実技）>

◇技術指導の範囲において実技指導を行い、採点を行う。

- ①「初歩の平行ターンⅡ」、「ベーシック平行ターン」、「洗練の平行ターンⅠ」の中で１種目とする。
②検定員、または他の受検者が生徒となり、受検者１名に対して５分程度とする。
③着眼点は、到達目標と練習順序の確認、練習技術の要領、要点の明確な説明、斜面の選択、安全への配慮、技術師範の表現力、注意とアドバイス、ほめ方と激励のしかた、指導態度、誠実性、言葉づかい、声の大きさと明瞭さ。



6. 初・中・上級指導員検定会合格発表 検定会の２日目午後

■初・中・上級指導員検定会（理論・実技）の合格発表は、午後１４時頃を予定。

合格発表会場は、北長沼スキー場から近くの北長沼公的施設に移動して行く。

主任検定員から検定会の講評と合否結果が発表される。

◇検定合格者については別途、認定料 3,000 円・名札 2200 円・指導員通信料 900 円が必要になります。

7. 検定に向けての技術部主催練習会 シーズン前に決定（注10）

■雪上練習会は、主に検定会会場（３回程度の予定）

8. その他

<指導員受検者参考資料>

①全国スキー協 スキー教程（２０１８年９月８日発行）（注11）

②クラブ・スキー協発展のために／スキー・スノーボード リーダーテキスト
<「リーダーテキスト」編、「スキーを安全に」編>（２０２２年６月１２日改訂発行）（注12）

③シー・ハイル／指導員必携（毎年１１月１日発行）600円

<道スキー協教育部～担当者連絡先>

・教育部実務担当者 長谷川（スカディ）

メールアドレス [hi7400sa アットマーク gmail.com](mailto:hi7400sa@gmail.com)

注1／様式は全国スキー協HPからダウンロードしてください。

注2.4.6／日程については9月末の全国申請を経て正式決定になります。(シーハイルに掲載)

注7／検定員についても同上

注2／養成理論の会場は札幌市内で行う。ZOOMも併設予定。

注3.5／養成は理論と実技併せて5,000円。参加費は当日現金にて集金。

前年度に理論・実技いずれかの単位を取得した場合、当年度いずれかを受講するとき5,000円納金。

注8／検定費用は6,000円納金。

前年度不合格の科目を1科目でも受検する場合も、検定費用として6,000円納金。

注10／会場・詳細日程はシーズン前に決定し、受験生に周知する。

注11・12／全国スキー協HPからダウンロード可能

2026・27シーズンは

注4／岩見沢萩ノ山スキー場 注6／北長沼スキー場 注9／北長沼福祉センター

それぞれの集合時間、開始時間等は、別途の連絡となります。

<その他>

- ・それぞれ現地参加になります。遅れないようにご参加して下さい。自家用車の方は安全運転をお願いします。
- ・保険は各自でご加入ください。スキー場での事故は、最低限の処置をしますが責任は負いかねます。

併せまして、「指導員養成修了証」の発行についてお知らせいたします。

「指導員養成修了証」の発行（2022年8月1日発行の全国スキー協通信から）

第32期全国代表者会議において、「クラブ内などでスキー協の指導員資格を持たない人がスキー協のスキー教程技術を伝えることはできないのか？」という発言がありました。

以前からスキー協の考えや教程技術に深く触れたいというニーズは一般会員から根強くあります。このニーズに対して2014年秋の全国理事会で、それまでは指導員検定会の受験を前提としていた指導員養成（理論、技術）の参加を、受験はせずとも指導員養成は受講してみたいという会員に対して、スキー講習会のアシスタントとして活躍してもらい指導経験を積んでもらうなどの活動をよりやりやすくすることに加え、指導員養成の間口を広げたいという考えで指導員養成修了者に対し「指導員養成修了証」を与えることにしています。より多くの会員にスキー協の活動及びスキー指導法やスキー教程技術を指導員養成の観点から触れていただくと共に、初級指導員受験の前提である指導員養成の心理的な敷居を下げることによって、指導員候補者を発掘するという目的もあります。

指導員養成修了証は、「様式6号 指導員受験票」で、養成理論（7単位）と養成技術（10単位）の両方をうけたことを確認し発行します。（技術教育局長 岡田章男）

道スキー協でも、養成理論・実技を受講した方に、「指導員養成修了証」を発行することにしました。ご希望の方は、教育部・長谷川尚子までお申し出ください。